

3年生の合唱

12月8日（水）に、「3学年音楽科合同授業」がありました。会場は体育館でした。音楽の授業を中心に取り組んできた各学級の合唱を発表し合いました。

指揮者と伴奏者は、合唱祭へ向けて夏休みから取り組んできたことと思います。2学期になり、さあ、これから練習というときに、新型コロナウイルス感染症の拡大状況が悪化し、分散登校とオンライン学習がスタートしました。音楽の時間に歌うことがむずかしくなりました。

この状況が9月いっぱい続き、例年であれば、合唱練習真っ盛りの9月となるところが、歌えない9月となりました。それでも、工夫をしながら合唱への取組は続けられましたが、10月の学習発表会と合唱祭の開催は断念（だんねん）せざるを得ない状況となりました。

その後、幸いにも感染状況が落ち着きを見せ、音楽の時間に声を出すことができるようになりました。音楽担当の先生から、ぜひ発表の機会を設けたいという話があり、3年生は合同授業という形で発表会を開催することになりました。

当日は、マスクをしたままの合唱となりました。感染状況は、一時期に比べれば落ち着いているとはいえ、まだまだ感染予防対策は続いているわけです。3年生5学級の合唱は、どの学級もマスクをしていることを感じさせないような歌声でした。合唱に対する思い、自分の学級に対する思いが伝わってきました。

学級の合唱をリードし、まとめる指揮者は、皆、堂々として立派な指揮ぶりでした。一番練習を重ね、きっと苦労も多かった伴奏者の演奏は、まるでピアニストのようでした。また、各学級の女子の歌声は、予想していた通りのきれいなハーモニーでした。

3年生の合唱のポイントは男声です。男子が、どのくらい声を出すかによって、人の心を揺さぶる合唱になるかどうかが決まるように思います。今回は、十分な練習をすることができなかつた状況での発表となりました。それでも、各学級ともに思いは届いたように感じます。願わくば、1・2年生にも体育館で3年生の合唱を見せたかったというのが正直なところです。

互いの合唱を聞き合う3年生の態度は真剣そのものでした。3年生になると、今まで以上に他の学級の合唱が気になるものです。自分の心の中で審査もしていることでしょう。それが3年生です。

来年の秋には、各学級が練習を積み、その成果を披露（ひろう）し合う場である合唱コンクールが開催できる状況になるかどうかはわかりません。現1・2年生の歌声が聞けることを祈るばかりです。3年生は、自分たちの合唱を中学時代の大切な思い出の一つにしてもらえればと思います。とても素敵な3年生の歌声でした。